

監査報告

平成22年度境町一般会計及び7件の特別会計並びに水道事業会計については、決算監査が行われ、次のとおり報告がありました。



(鈴木眞吾 監査委員)

○一般会計及び特別会計

一、決算計数について
決算額と帳簿の計数は符号しており適正と認める。

二、財産管理について

財産に関する調書の計数は、管理簿及び証憑書類に符合しており、また、調書以外の物品も台帳管理を行っており適正である。

三、事務執行について

収支の執行は、収支命令に符合しており、また、契約事務も適正に行われ、法令、条例、規則に準拠の執行であり適正である。

平成23年8月3日

境町監査委員 鈴木眞吾

関 稔

○水道事業会計

帳簿は正確に記録しており諸表の

計数も非違はなく、当該年度の事業執行について、すべての財源とその使途及び年度末における財政状態を適正に表示しており合法且つ正確と認める。

平成23年5月25日

境町監査委員 斉藤 満

関 稔

平成23年第3回定例会に提出された議案の内容と審議結果

条例の改正

○境町ふれあいの里設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

〔原案可決〕

圏央道建設に伴い伝統工芸館、パーベキュー広場が移転したため、位置を新たな地番に訂正するもの。

補正予算

○平成23年度境町一般会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4千893万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を84億8千663万6千円とするもの。

○平成23年度境町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8千446万5千円を追加

し、歳入歳出予算の総額を32億389万5千円とするもの。

○平成23年度境町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千437万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億7千231万5千円とするもの。

○平成23年度境町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千370万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を13億8千325万5千円とするもの。

○平成23年度境町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千100万円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億3千661万7千円とするもの。

○平成23年度境町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3千万円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億4千868万6千円とするもの。

町道路線の認定

○町道1793号線

境町字びは砂地内において、開発行為による道路新設に伴い採納を受けたことにより、新たに町道路線を認定し維持管理するもの。

請願審査結果

- ・起点 境町字びは砂14番7地先
- ・終点 境町字庚申塚40番1地先
- ・幅員 5.0m(7.2m)
- ・延長 124.8m

○教育予算の拡充を求める請願

〔採択〕

○早期の学校耐震化及び教育復興を求める請願

〔採択〕

請願者

茨城県水戸市笠原町978-146

茨城県教職員組合

代表 高野 富二男

意見書の提出

政府関係機関へ次の意見書を提出しました。

○教育予算の拡充を求める意見書

教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに国負担割合を二分の一に還元すること。

提出先 内閣総理大臣ほか5名

一般質問

議席5番 須藤 信吉 議員



○境町開発計画について

Q.平成23年度より、「まちおこし推

進室」が総務部門から町長直轄の部局となったが、現在どのように計画され進められているのか。

A.今後のまちづくりにおける課題と地域活性化に向け「境町都市計画マスタープラン」・「圏央道インターチェンジ周辺まちづくり基本調査」などの各種計画に位置付けられた方針を基本とし、安心・安全・安定のまちづくりを進めている。

〔参事兼まちおこし推進室長〕

Q.インターチェンジ周辺開発計画について、近隣市町村の開発計画やアクセス道路(新4号の6車線化・354バイパス等)の整備計画が進められている。当町においても開発計画が進められていると思うが、進捗状況は。

A.当町における周辺開発においては進出企業が決定的になってから企業用地としての整備を具体的に進め、用地の確保から造成まで行う「オーダーメイド方式」によって企業誘致を進め、企業用地を求めていく。

〔参事兼まちおこし推進室長〕

○放射能対策はどのように進められているか

Q.農業(野菜・米・茶等)関係の現状と今後の対応について。

A.東電に対し、野菜の損害賠償請求を4月から5回にわたり約10億円請求し、4月から6月の二分の一相当額が仮払いされた。今後、境地域農業振興協議会にて放射性物質検査機器を購入し、農作物やお茶等についての自主検査をする予定である。

〔副町長〕